

未来に生きて働く探究力と省察性の育成

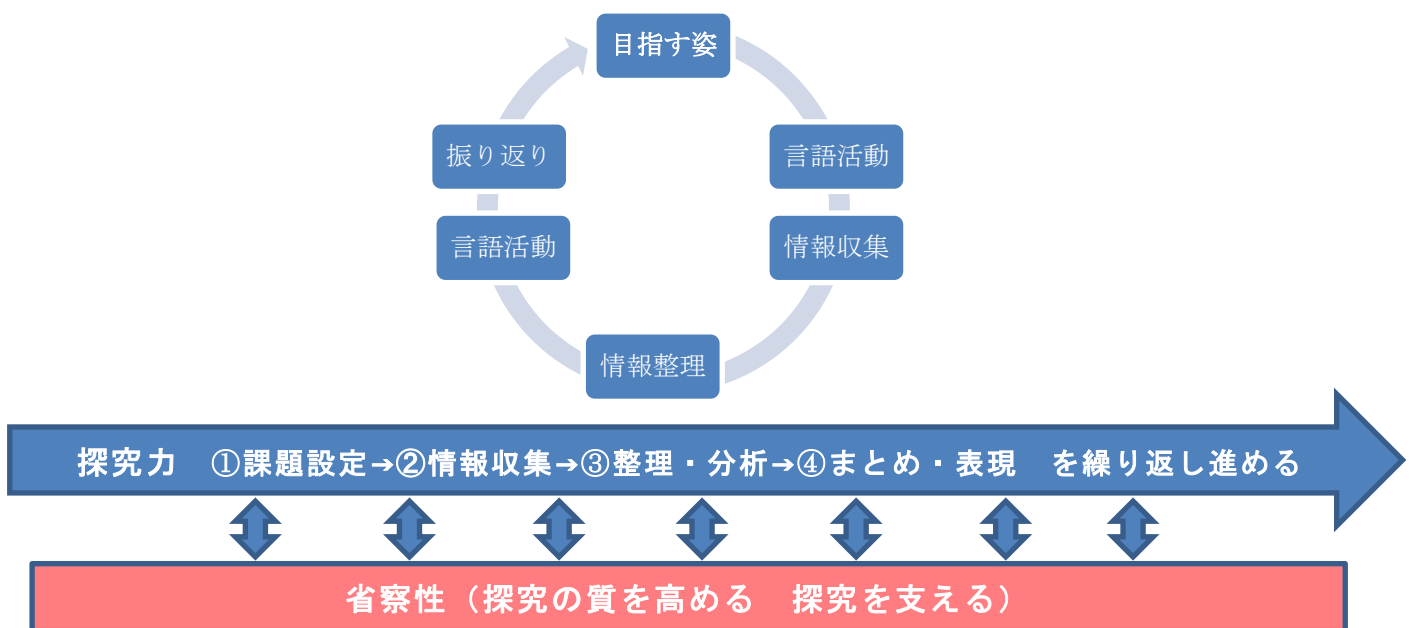
外国語活動の本質

外国語による見方・考え方を働かせ、主に聞くこと、話すこと（やりとり・発表）の言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成する。外国語によるコミュニケーションの中で、物事をどのような視点で捉え、どのように思考していくのかをその背景にある文化、社会、世界、他者との関わりから着目する。コミュニケーションを行う相手・目的・場面・状況等に応じて、情報を整理しながら考えを形成、再構築していく。

外国語活動の目標及び育みたい探究力と省察性

外国語活動の目標	外国語活動における見方・考え方を働かせ、主に聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地を養う。
育みたい探究力	外国語やその背景にある文化、社会、世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う相手・目的・場面・状況等に応じて、情報を整理しながら考えを形成し、再構築する資質・能力
育みたい省察性	習得した知識を自分の生活や文化と関連付けてより深く理解し、情報を精査し、身に付けた思考力を発揮させ課題に対して解決策を考える資質・能力

外国語活動における探究的な学びのイメージ



探究力と省察性を育む指導

外国語活動における「探究力」とは、いかに相手とコミュニケーションを図り、自国との文化の違いを楽しみ世界を広げることである。そのために今の自分に必要な情報や技能について考え、語彙や表現を習得していこうとする省察性が必要になる。その「探究力」と「省察性」を高め、継続していくには自分が習得した言語によるコミュニケーションによって新しい自分に出会い、世界が広がったことに対する喜びが感じられる授業づくりが重要になる。

研究の評価

主に児童観察、アンケート調査を行い、研究の成果と課題を明らかにする。子どものたちのワークシートや成果物をファイリングしたものや ICT 機器を用いて活動や表現を記録したものをポートフォリオとして活用する。学習前と学習後のコミュニケーションを伴う語彙の量や表現の変化をもって評価を行う。